

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ようこそ、歌舞伎の世界へ 歌舞伎の魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	舞台芸術鑑賞事業企画委員会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	11,276,759 円

事業内容

地域住民の間に伝統・伝承芸能のファンを増やし、大切に守り次代に繋げていく気運が今以上に高まることを目指す。

1. テーマ：歌舞伎を「観る」／プロの役者による公演
松竹大歌舞伎を鑑賞。次代を担う地域の小中高生を無料招待した。(9月18日(水) 昼・夜2回公演 飯田文化会館)
2. 歌舞伎を「観る」／「観る」へ繋げる講座
より理解を深めること、また保存会員の若手や後継者育成の観点から、事前講座を4回実施した。((1)はH30年度事業)
(1)大歌舞伎を学ぶ(講師：歌舞伎ソリエ・おくだ健太郎)
(2)歌舞伎の音に親しむ(講師：付け打ち・山崎徹)
(3)プロの役者に学ぶ(講師：歌舞伎俳優・尾上松也)
(4)本公演のみどころ(講師：歌舞伎ソリエ・おくだ健太郎)



【講座・尾上松也氏と子どもの交流】

【目標・ねらい】

- ①地域住民が伝統芸能を知り、関心や興味を高める
- ②子どもたちが一流の伝統芸能に触れることで、新たな担い手を創出する
- ③地芝居の振興、継承、後継者育成
- ④郡市民が自ら企画運営する

事業効果

- ①大歌舞伎公演
事前講座による歌舞伎への関心や期待の高まりと、実行委員や保存会員が口伝で観賞を勧めることで、予想以上の郡市民に鑑賞いただけた。歌舞伎の魅力が伝わり、伝統・伝承芸能のファン拡大へと繋がった。(販売1,513席、入場1,492人)
招待した小中高生は一流の芸を初めて目の当たりにし、「すごい」「また観たい」との声が多く、日本や地域の伝統文化を大切に、新たな担い手へと繋がることが期待される。
(招待申込／学生269人、引率22人、保護者(有料)53人)
(招待入場／学生254人、引率22人、保護者(有料)52人)
- ②歌舞伎講座
歌舞伎への興味、関心が高まり、身近なものになった。講師との繋がりができた保存会では、講座以降も独自で講座を開催するなど活発な活動が見られた。
特に、歌舞伎俳優の尾上松也氏を招聘し、当地域と尾上家との繋がりを紹介し、歌舞伎教室の子どもたちが交流できたことは、大変有意義であり、後継者育成と、地芝居のさらなる振興が期待される。(参加者(1)101人、(2)103人、(3)309人、(4)96人)

※自己評価【A】

【理由】

多くの郡市民に鑑賞、参加いただき、伝統・伝承芸能のファン拡大へと繋がった。特に、次代を担う小中高生の反応が良く、新たな担い手の創出に寄与できたと考えている。
また、保存会員が公演や講座から刺激を受け、より活発な活動が見られたことは、地芝居の更なる発展、後継者育成へ繋がったと考えている。

今後の取り組み

当事業は5年間に亘り活動してきたが、多くの郡市民に鑑賞、参加いただき、歌舞伎の魅力を感じただけだったことは、大きな成果であり、伝統・伝承芸能の振興や継承に寄与できたと考えている。しかしながら、あくまでも一つの通過点と捉え、支援金終了後もさらに深みを追及してまいりたい。

特に、今回の歌舞伎講座で得られたプロの役者や歌舞伎に携わる技術者、専門家との繋がりは大切にしながら、伝統・伝承芸能のファンが増加し、次代に繋げていく機運の高まりと、地芝居の後継者育成と更なる振興に繋げていきたい。